

長崎の林業

小曾根星堂書



5

しいたけの駒打ち体験会

目次

● 林政だより	令和7年度林政課・森林整備室の予算概要	2~3
● 特集記事	里山に学んだ80年 長崎里山塾 代表 岸川 忠之さん	4~5
● 林業普及だより	佐世保市祇園緑の少年団活動内容について紹介します！	6
● 地方だより・県央	長崎県立諫早農業高等学校生徒に高性能林業機械現地研修を実施！	7
● 地方だより・島原	南島原市立南有馬小学校しいたけ駒打ち体験会(南島原イオンの里山)	8
● 林業団体情報	リニューアルオープンから早や1年【ながさき県民の森】	9
● センターだより	ヒノキ植栽地における下刈方法と適期 ～木本主体の下層植生のとき～	10
● イベント情報・五島	第35回全国樺サミット五島大会	11
● 長崎の山と森	大三東のハゼノキ群 松崎のクスノキ	12

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税を活用して発行しています。



2025
No.824

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ながさき森林環境税の取組についてはこちら→



森林ボランティアに興味のある方はこちら→



FREE

ご自由にお持ち下さい。

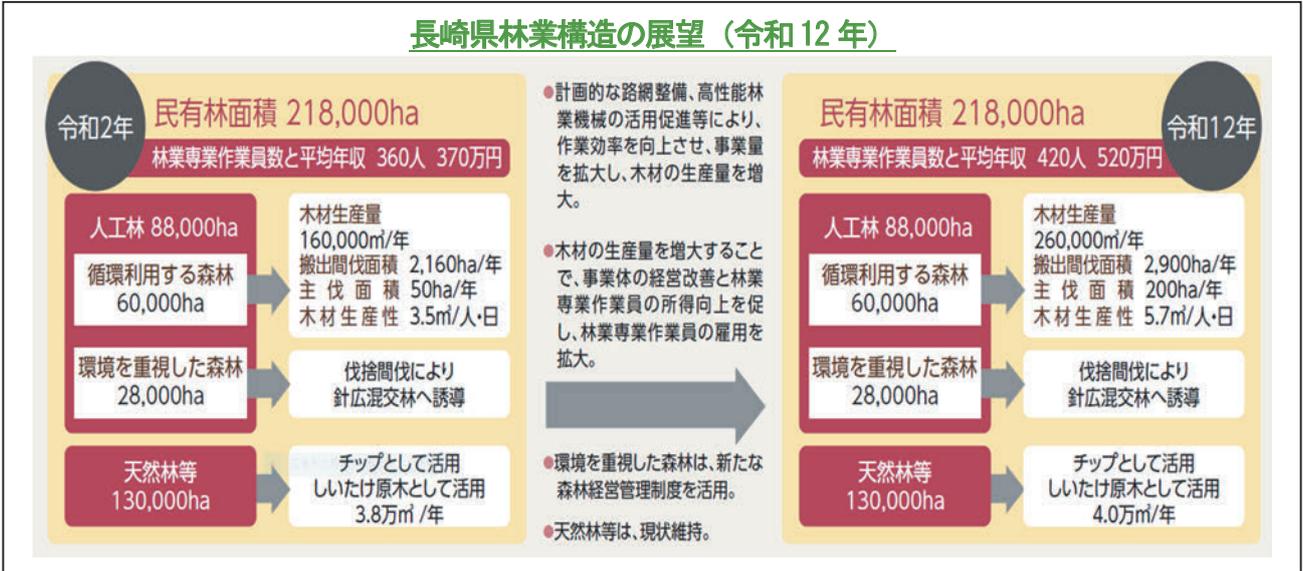
「長崎の林業」はこちらからもご覧いただけます→



林政だより

令和7年度林政課・森林整備室の予算概要

長崎県林業構造の展望（令和12年）



ながさき農林業・農山村活性化計画

若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村の実現を目指すために県が策定した「第3期ながさき農林業・農山村活性化計画」は令和7年度が最終年度となります。

令和12年までに路網整備、高性能林業機械の活用促進により木材生産量を増大し、林業事業体の経営改善を進め、林業専門作業員数420人、平均年収520万円の確保を目標として施策に取り組んできました。

しかし近年、高齢化と後継者不足により担い手の減少が続き、頻発化・激甚化する災害等の様々な課題への対応など、現行計画の策定時から社会情勢が大きく変化しております。

今年度は、これらの情勢を踏まえて次期計画を作成することとしております。

そのため、ながさき森林環境税を活用し、「環境重視」と「県民参加」の視点に立った活動を支援します。

〇人集う里山づくり事業

身近で、親しめる里山林となるよう森林の整備を進め、安全な生活環境を提供します。



里山林の整備前（佐世保市長畑地区）



里山林の整備後（佐世保市長畑地区）

当初予算の概要

令和7年度の林政課・森林整備室関係の一般会計当初予算は、8,852,115千円です。

主な事業

1. ながさき森林環境保全事業

（予算額：183,015千円）

森林の持つ公益的機能の維持発揮と、森林を県民の皆さんで守り育てていく意識を高め

○ながさ木・なごみの街づくり事業

民間のPR効果が高いスペースや教育・保育スペースにおいて、木製品を県産木材で整備する取り組みなどを支援します。



民間施設への県産木材のテーブル導入

○ながさき県民参加の森林づくり事業

県民の皆さんがながさき森林環境税の趣旨に即して自ら企画し実施する、植樹や森林の環境整備を中心とした活動などを支援します。



子供たちへの森林体験学習など

2. 森林環境譲与税事業

(予算額：67,865千円)

森林の適切な管理と林業の成長産業化を両立するため、「新たな森林管理システム」を推進し、森林整備の担い手となる林業事業体の育成・強化を図ります。

また、新規事業「もりびとの魅力きらめきアップ支援事業」により、県内の林業事業体が自らの将来ビジョンを実行していくための課題解決を目指す取り組みを支援します。



伐木チャンピオンシップ(林業担い手の技術向上)

3. 森林環境保全整備事業(造林公共)

(予算額：1,068,329千円)

森林の公益的機能の維持増進を図るため、造林や間伐等の森林整備を支援し、健全な森林を育てていきます。



伐採後の再造林

4. 森林環境保全整備事業(林道公共)

(予算額：122,800千円)

水土保持及び木材生産機能の高い森林について、その機能を効率的に発揮させるための基盤となる林道等の新設及び改築を行います。

5. 治山事業(公共)

(予算額：3,427,440千円)

梅雨前線や台風による集中豪雨等を起因とした山地災害から県民の生命と生活を守るため、施設整備及び森林整備を実施します。

(林政課 計画調整班)



【特集記事】 里山に学んだ80年

長崎里山塾
代表 岸川

ただゆき
忠之さん (写真中央)

長崎もり活研究会との共同作業の写真

今回ご紹介するのは長崎里山塾の代表、岸川忠之さんです。

里山生まれの里山育ち

岸川さんは昭和19年に川棚町に生まれました。幼少時代から里山で育ち、春には山菜採り、夏にはヤマモモジュース造り、秋には稲の収穫と干し柿作り、冬には筵むしろや縄作り等、四季を通して海山川の恵みを受け、米麦芋から味噌醤油に至るまで自給自足の生活を送っていました。欲しい物はほとんど手作りで手に入れており、鉱石ラジオやアマチュア無線用送受信機などは部品から作り、アンテナは孟宗竹を用いて作成していたそうです。中学校を卒業後、高校、大学へと進学し、当時盛んだったアマチュア無線クラブを創設するなど、精力的に活動を行っていました。大学卒業後は高校時代の恩師の勧めにより教職の道へ進みました。

教職から山林関係のサポーターへ

中学校の教員としての生活がスタートした中で、里山育ちでアマチュア無線の免許を持っていた岸川さんに、高校時代の恩師であり、長崎県山岳連盟理事でもある一瀬義典先生より山岳競技への協力の打診が舞い込みました。内容は、1969年に開催された長崎国体の秋季大会の山岳競技で、多良山系コース役員を行うというものでした。

岸川さんは就職して間もない状態でしたが打診を快諾し、開催前年に北アルプスにて夏山縦走で一週間準備を行い、山岳競技運営に臨みました。多良山系から雲仙山系の2か所を縦走する競技で、岸川さんは多良山系の定点担当として、五家原岳山頂に1週間野営をして、各県選手の通過報告や事故発生時連絡を行い、事故発生もなく、無事競技を完了することができました。

この競技の後、教員山岳部に参入し、市民ハイキング案内人や中学生キャンプ教室企画運営にも携わりました。

市民ハイキングは、長崎市近郊の山々にて一般参加者の道案内をするもの、中学生キャンプ教室は、中学生を対象に夏休みにキャンプ指導を行うもので、教員山岳部で分担して実施していました。岸川さんが企画運営に携わり始めた昭和40年代は、今程家庭や学校でのキャンプ経験が多くなく、野外生活の楽しみやその技を得る場がありませんでした。そのため、夏休みに入ると同時に希望者を募ると250名程度参加希望者が集まりました。その参加者と一緒に雲仙白雲の池に野外泊して、雲仙岳妙見国見普賢岳縦走し、夜はキャンプファイヤーを楽しみました。この活動は25年間継続し、その後はPTA活動として引き継がれたため、教員山岳部としての活動は終了しました。

長崎里山塾としての活動

教員を退職後は郷里である川棚の実家や山林や田畑のメンテナンスの生活を送っていました。しかし、かつて案内を行っていた里山が徐々に荒廃してくのを目にする中で何かできることないかと考えていたところ、市民ハイキング案内や中学生キャンプ教室で行動を共にした教員山岳部の先輩の誘いがあり、森林ボランティア団体「長崎里山塾」に加入しました。長崎里山塾では、公園緑地の植栽や除草作業を行い、平成22年度にながさき森林環境税の補助を受け、荒廃しつつある里山、自然遊歩道の復活を手掛けました。活動内容は、戸町から女神大橋、立神公園迄の山道整



森林整備をされる岸川さん

備で、遊歩道コース案内表示板づくりや、コース途上の公園の整備等を行うなど、様々な整備を実施しました。

近年は長崎里山塾の会員減少により、長崎もり活研究会というボランティア団体との協働で、森林整備・荒廃地の活用作業を継続しています。

今後の展望

岸川さんは、今後の活動は次世代に活動を伝えていくことが肝要だ、と語ります。

「自然環境改善に関わる人材不足と高齢化が進む中で、自然環境維持と管理はますます永続的な課題になると感じています。そこで、各ボランティア団体の活動を通して、課題解決に取り組み、その活動を活発にするために、行政と民間団体相互の繋がりを密に、円滑にしていくことが大事だと考えています。次世代に課題解決への努力を引き継いでもらうためにも、今できることをやりながら、手だて等々を伝えていくことが大切であり、責務でもあります。」と今後の展望を語っていただきました。

(NPO法人地域循環研究所)

林業普及だより

佐世保市祇園緑の少年団活動内容について紹介します!

はじめに

長崎県では緑の少年団が19団体活動しており、その中で県北管内では、2つの緑の少年団が活動しています。今回は、佐世保市祇園緑の少年団の活動内容について紹介します。

少年団の活動内容について

佐世保市祇園緑の少年団は、佐世保市立祇園小学校と佐世保市立祇園中学校の生徒達で主に団員構成されており、現在、団員数13名で活動しています。

活動内容は、花の苗植えや、サツマイモの苗植え・芋ほり、リース作り、森林整備などです。

この活動が評価され、昨年12月7日に開催された、長崎県内の緑の少年団が集まり、日々の活動を発表する全県交流集会において、最優秀賞を受賞しました。

ここからは、2月23日に長崎県立佐世保青少年の天地で活動した内容をご紹介します。

はじめの活動内容は、敷地内にある木のネームプレートづくりです。敷地内の森林を散策して木の種類を把握し、作業スペースに戻り、木のネームプレートを手作りしました。

次に、フィンランドが起源とされるスポーツ「モルック」の用具づくりに取り組みました。円柱の木材を斜めに切り、紙やすりで磨き、ペンキで色を塗って、オリジナルのモルック(投げる棒)とスキttl(木製のピン)を手作りしました。出来上がったカラフルなオリジナルのモルック用具で、モルックを楽しみました。



オリジナルのモルック用具



木のネームプレートづくりの様子

松瀬団長からは、「皆さんは日常生活の中で自然の素晴らしさを感じる時間がありますか。子供たちと佐世保の自然の素晴らしさを五感で感じながら活動しています。子供たちは体験を通じ成長し、たくさん笑顔になり、自然から学びと癒しをいただく貴重な体験となっています。」とコメントをいただきました。

今後も、子供たちが自然と触れる機会を継続できるように、引き続き緑の少年団活動を支援していきます。

(県北振興局 林業課)

地方だより

長崎県立諫早農業高等学校生徒に高性能林業機械現地研修を実施!



現地研修の様子

はじめに

令和6年12月21日、長崎県立諫早農業高等学校の環境創造科の1年生40名を対象に、高性能林業機械現地研修を開催しました。

この研修は、職業体験を通して林業について知ってもらい、生徒の将来の選択肢の一つとして考えてもらうことを目的として毎年実施しています。

研修の初めに県央振興局から、林業の歴史や森林の持つ多面的機能、今回使用する高性能林業機械について講義を行いました。



講義の様子

続いて、長崎南部森林組合諫早支所の林業専門作業員の方々に講師を務めていただき、フォワーダ、プロセッサ、スイングヤードの操縦体験や、GIS測量や樹高測定などの森林調査に関する研修を実施しました。

高性能林業機械に初めて試乗した生徒からは、「貴重な体験をすることができた」「林業が想像以上に機械化していて驚いた」等の感想をいただきました。

この研修を通して、林業に対する興味をもってもらい、林業を志す人材が増えることを期待しています。



森林調査の様子

おわりに

林業は林業専門作業員の高齢化や離職者の増加等により、年々人手不足が深刻化しつつあります。そのため、新たな担い手の確保が重要な課題となっています。

今後もこのような課題の解決に向けて、森林や林業に興味を持つきっかけとなる、このような普及活動に取り組んでまいります。

(県央振興局 林業課)

地方だより

南島原市立南有馬小学校しいたけ駒打ち体験会 (南島原イオンの里山)

総合的な学習「森の恵み」

2月18日(火)に、南島原市みんなの森守協議会主催のもと、南島原市立南有馬小学校三年生の児童21名を対象に、総合的な学習の一環として、「しいたけ駒打ち体験」がイオンの里山で開催されました。

イベントの主な目的は、2つあります。

- ①しいたけができるまでを知ること。
- ②しいたけの駒打ちを通して、自然の素晴らしさを感じる。

児童たちは、それぞれが真剣にしいたけについて学び、駒打ち体験を通じて、しいたけの魅力を深く学びました。

しいたけ学習会

株式会社北研の井上所長が講師を務めたしいたけ学習会では、きのこクイズや実際に打ち込む駒を見せながら、きのこの種類や生態などについて、わかりやすく話がありました。

児童からの質問では、「なぜしいたけは、植えるではなく、打つと言うのですか。」という素朴な疑問に対し、「しいたけは種ではなく、菌がまわった木片を原木に打ち込むので、打つといいます。」とやさしく回答されるなど、微笑ましいやり取りがありました。児童は熱心に話を聞き、和気あいあいとした、学習会となりました。



しいたけ学習会の様子

しいたけの駒打ち体験

しいたけの駒打ち体験では、まず初めにほだ木に穴を開けるところから始まりました。

穴を開けるために使用するインパクトドライバーを初めて使う児童もおり、慣れない手つきながらも一生懸命力を合わせて穴を開けていました。

駒打ちでは、意気揚々と木槌を手に取り、穴の開いたほだ木に駒を打ち付けていました。



ほだ木に穴を開ける児童達

一つ一つ丁寧に打ち付ける児童もいれば、駒を一行に並べて一気に打ち付ける児童もあり、それぞれ工夫を凝らしていました。

児童たちは2年後に、今日のほだ木からしいたけを収穫する予定です。

最後に

しいたけの駒打ち体験を通して、普段何気なく食卓に並ぶ食材がどのように育ち、収穫されるのかを学ぶことで、食材への感謝と特用林産物への興味を持ってくれることを願います。

(島原振興局 林務課)

林業団体情報

リニューアルオープンから早や1年 【ながさき県民の森】

久々の賑わいにビックリ

ながさき県民の森は令和6年3月30日に森林館内部や屋外アスレチックを一新してリニューアルオープンした。5月の連休を迎えるとそれまで閑散としていた森林館は、連日満員状態で1日に1,200人も来場する賑わいぶりを見せました。

リニューアル後の森林館内は授乳室や洋式トイレ、身障者トイレ、子ども向けの木の遊具が11種類もあり、赤ちゃんを連れた若い人や孫を連れた高齢の方々の来場が増えました。入場料は無料で、森林館を訪れた妙齢のご婦人が、「県もよかところにお金を使っとるばい。」と漏らされていました。

また、保育園や幼稚園、小学生の団体客の来場も多くなり、「ここでは思い切り走り回り、大きな声を出しても良いよ。」と言うと、後日、小学2年生の女の子からお手紙が来て、「初めて大きな声を出しました。」と書いてありました。



ボルダリングに夢中の子どもたち

木工クラフト体験が大人気

木工クラフトコーナーも一新して大人気を博しています。昨年度4月から3月までの体験者数は、2,200人に上ります。

ながさき県民の森で採取した自然素材を活用し、季節もののクラフト体験を楽しむことができます。



木工クラフトの様子

盛りだくさんのイベント

令和7年度は29種類のイベントを計画しています。4月のタケノコ掘り体験に始まり、3月のきのこの駒打ち体験まで、さまざまな体験ができます。また、昨年度は降雨で中止になった「ふるさとの森フェスタ」も計画しています。

イベントのお知らせはホームページで行っており、参加申し込みは電話で受け付けていますが、募集開始日には、申し込みの電話が殺到して大変です。

多くのイベントは、予約制・先着順ですが、人気が高いタケノコ掘り体験やクリスマスリース作りなどは抽選にしています。

「憩い・癒し・健康の森」

あなたも「憩い・癒し」を求めて、東京ドーム8個分の広さを誇る「健康の森」、リニューアルしたてのながさき県民の森へ是非御来場ください。

(ながさき県民の森)

お問合せ先：0959-24-0181



冒険の森アスレチック広場

センターだより

ヒノキ植栽地における下刈方法と適期 ～木本主体の下層植生のとき～

はじめに

主伐後に再造林した植栽木を健全に成長させるためには、成長を阻害する雑草木の下刈が重要です。下刈は、一般的に雑草木が成長する7～9月に行いますが、炎天下での過酷な作業環境や、担い手不足が課題となっており、事業体の負担軽減に向けて下刈省力化が求められています。

これまで、下刈方法の見直しが行われていますが、多くの調査は10年生以下の幼齢期の調査で終了し、その後の20年生を超えるまでの追跡調査をした事例は多くないです。そこで、2001年3月に諫早市に設置した試験区(22年生)において下刈方法の違い(表1)が成林に及ぼす影響を調べました。

表1 下刈方法別試験区一覧

下刈区分	内 容	
全刈	2回刈	6月と8月に2回刈取。
	7月刈	7月に1回刈取。
	6月刈	6月に1回刈取。
	ツル木本刈	7月にツル+木本のみ刈取。
	冬季刈	冬季1月に1回刈取。
坪刈	植栽木の根元周囲径50cmのみを刈取。	
省略	無下刈	刈取省略。
	資材処置	資材でシェルター(植栽木の根元周囲径30cmを防草シートでマルチし、植栽木をプラスチックダンボールで直径30cmに囲い支柱で固定)をつくり、刈取を省略。

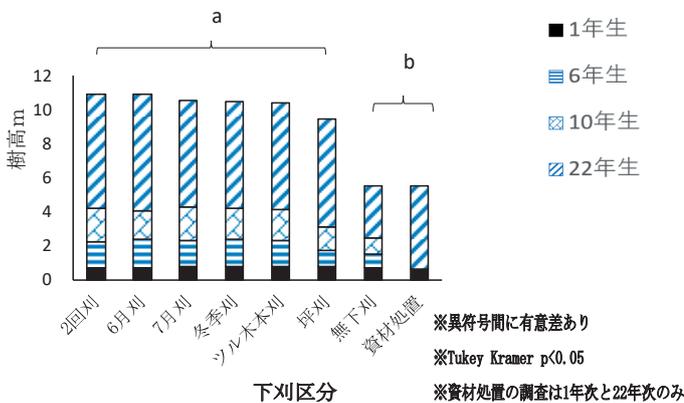


図1 下刈区分別平均樹高

調査結果

樹高の成長は、全刈、坪刈が優れていました。また、全刈で2回実施した場合と、6月と7月に1回実施した場合には、樹高と胸高直径の大きさに差がありませんでした。胸高直径の成長は、全刈が優れていました(図1, 2)。木本類を刈り残す坪刈や無下刈は枯損率が高く成林しないことがわかりました(表2)。

これらの結果から、下刈回数は1回の全刈や6月刈もしくは冬季刈とすることで、熱中症対策をしつつ、植栽木の健全な成長を期待できると考えられます。

おわりに

植栽後の下刈等の適切な保育作業は、次の森林を育てるために重要です。

長崎県の林業が、「伐る」「植える」「育てる」の循環産業としてさらに発展するように取り組んでいきます。

(農林技術開発センター)

表2 枯損率の推移(%)

区分/調査年生	6年生	10年生	22年生
2回刈	3.0	3.0	4.6
6月刈	3.0	3.0	12.1
7月刈	3.0	3.0	3.0
冬季刈	4.5	4.5	9.1
ツル木本刈	4.5	6.0	18.2
坪刈	0.0	0.0	47.0
無下刈	9.1	12.1	63.6
資材処置	-	-	69.7

※資材処理は22年次のみ

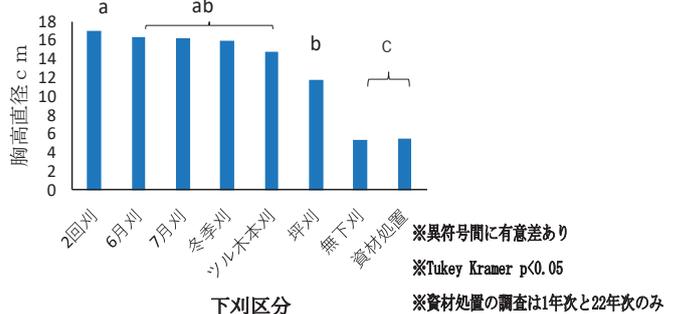


図2 下刈区分別平均胸高直径

イベント情報

第35回全国椿サミット五島大会

第35回全国椿サミットが、令和7年2月22日(土)と23日(日)に五島市で開催されました。

全国椿サミットとはツバキやサザンカを市町村の花木に指定している自治体や、全国から多くの椿愛好家が情報交換や交流を通じて地域活性化を図ることを目的としたイベントで、平成3年から毎年開催されています。

会場では、大会の開始を祝うセレモニーや、五島の文化や伝統を紹介する伝統舞踊・音楽講演が行われました。また、椿に関する専門家による最新の研究や取り組みについての講演会や、椿の保護や活用に関する意見交換が活発に行われたパネルディスカッションも実施されました。



パネルディスカッションの様子

さらに、椿に関連する展示や五島市の特産品の販売が行われ、参加者は多くの魅力的な品々を楽しむことができました。

2日目には五島椿園や聖母の大椿・円畑、玉之浦椿発祥の地などの現地視察が行われ、参加者は五島市の自然と文化を満喫しました。



現地視察の様子

今回のサミットは椿愛好家にとって非常に有意義なイベントであり、五島の魅力を存分に知ってもらえる良いイベントとなりました。

(五島振興局 林務課)

伊万里木材市況

【ヒノキ】

令和7年4月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16~18	直	22,400	普通	多い	多い
	16~18	小曲り	21,400	普通	多い	多い
	20~22	直	22,600	普通	多い	多い
	20~22	小曲り	21,400	普通	多い	多い
	24~28	直・小曲り	22,300 ~21,400	普通	多い	多い

【スギ】

令和7年4月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18~22	直	15,000	少ない	多い	多い
	16~22	小曲り	13,000	少ない	多い	多い
	24~28	直	15,000	少ない	多い	多い
	24~28	小曲り	13,000	少ない	多い	多い

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

長崎の山と森 樹木医の巨樹さるく

おおみさき
大三東のハゼノキ群

まっさき
松崎のクスノキ

大三東のハゼノキ群

ハゼノキは、暖地性の樹木で、ハゼの実から採った蠟は、木蠟燭の原料とされ、江戸時代に西国諸藩によって奨励されました。

島原半島でハゼの栽培が盛んになったのは、5代城主松平忠房がその栽培をすすめ、8代城主の松平忠刻が1744（延享元）年に10万本ハゼノキを領民にわけて植えさせるなど、代々の藩主が力を注ぎ勧めたからでした。

これらのハゼの実は大坂などに送られて島原藩の有力な財源の一つになりました。

島原藩には藩直営の製蠟工場があり、それ以外での蠟の製造は禁止され、植えられているハゼノキを切ることも禁止されていました。

1790年頃、島原藩千本木地区で、蠟分を多く含む木が発見され栽培が推奨されました。それが、1928（昭和2）年に「昭和福ハゼ」と命名されて国の奨励品種になりました。1960（昭和35）年に昭和福ハゼの原木が県の天然記念物に指定されましたが、1993（平成5）年の雲仙普賢岳の噴火による火砕流・土石流で原木は焼失しました。

しかし、現所有者の祖父が十数年生のヤマハゼの台木に昭和福ハゼの穂木を接ぎ木したもの約200本を1929（昭和4）年に植えたハゼ保存林が残っていました。

- ◆所在地 島原有明町大三東丁
- ◆樹高 10m 幹回り 2.9m(計測高 2.5m)



大三東のハゼノキ群

松崎のクスノキ

クスノキは、昔から神社や寺院などに植えられてきましたが、民家の敷地内で大木になるのは珍しいです。近くに寄ると、石垣を呑み込んだ根の大きさに圧倒されます。また、孤立木であることから、台風などの強風を受け続けてきた歴史が、幹や枝の様子から見るすることができます。

このクスノキの根元に祠があり、ご神木として長年大切にされてきたことが分かります。

現在では道路を越えた住宅地まで覆うほど大きく成長しています。遠くからも見ることができ、この地域のランドマークの1つになっています。

葉色はやや淡く枝先枯れもありますが、樹勢は旺盛と言えます。大枝が折れた跡が目立ち、腐朽の拡大が懸念されます。

- ◆所在地 島原市有明町大三東甲
- ◆樹高 37m 幹回り 12.1m(計測高 2.5m)



松崎のクスノキ

(NPO法人地域循環研究所)

長崎の林業 5月号 第824号
 編集・発行 長崎県林政課
 住所：長崎県長崎市尾上町3番1号
 電話：095-895-2988
 ファクシミリ：095-895-2596
 メールアドレス：
 s07090@pref.nagasaki.lg.jp